Press Release

2025年7月17日

報道関係者　各位

産業技術イノベーションセンター
担当：飛田、浅野
電話：029-293-7212（代）

茨城県

納豆菌BN株が免疫細胞の抗ウイルス作用を増進する可能性を発見

～細胞生化学分野の国際誌に論文掲載～

当センターとアサヒ目黒研究所株式会社（大阪市）は、2023年度と2024年度に実施した共同研究において、納豆菌BN株が免疫細胞による抗ウイルス効果を増進する可能性を発見しました。

本研究成果をまとめた論文が、2025年6月に国際的科学ジャーナル「Cell Biochemistry and Function」（発行元：Wiley社[アメリカ]）に掲載されました。

当センターでは、納豆菌を活用したサプリメントや加工食品など、県内企業の新たな機能性食品の開発を後押しするため、納豆菌の免疫機能について研究を重ねています。今後も、納豆菌の機能性を発信し、県内ヘルスケア産業の発展に貢献してまいりますので、報道各社におかれましては、ぜひ取材を賜りますようお願いいたします。

研究概要

当センターが開発した、実験動物や実物のウイルスを使用せずに食品成分等の抗ウイルス作用の増進を安全に検証できる“ウイルス感染モデル細胞”によって、納豆菌BN株の抗ウイルス効果を検証した

〇成果

納豆菌BN株がモデル細胞に対して、抗ウイルス作用に関わる遺伝子の量を増やすことが分かった

アサヒ目黒研究所（株）について

アサヒ目黒研究所（本社：大阪市中央区伏見町二丁目6番4号）は医薬品・健康食品原料、飼料添加物等に使用する納豆菌や乳酸菌を製造・販売。2025年5月よりアサヒグループにおいて食品事業を担い、茨城県内にも研究開発拠点などを持つアサヒグループ食品株式会社の子会社となる。

国際誌「Cell Biochemistry and Function」について

1983年創刊の国際的科学ジャーナル。分子細胞学、生化学等の研究分野を包括しており、国際的論文データベース「PubMed」にも収載されている。

Tobita K, Sawahata M, Imaizumi K, Kotsuna K, Miyoshi T.
Cell Biochemistry and Function. Volume 43, Issue 6, e70091